

令和4年度 えりも高校 第2回授業評価アンケート結果分析

アンケート実施期間：12月6日～12月16日

質問項目（各教科・科目共通）

先生に関する項目	①	授業の目標・課題設定がわかりやすい。
	②	板書やプリント・PCの文字、先生の説明・指示や声量・話す速度などがわかりやすく、整理されている。
	③	授業の内容や難易度は自分に合っている。
	④	ペアワークやグループワークなど対話的活動により、自分で考えたり発表したりできるような授業である。
	⑤	どのように評価されるか説明している。
	⑥	内容や疑問点について振り返る時間があり、伝えやすい。
生徒自身に関する項目	⑦	話を聞く姿勢を取るなど、ふさわしい態度で学習している。
	⑧	授業に積極的・主体的に参加している。
	⑨	分かりやすく発表したりまとめたりすることができている。
	⑩	この授業を通して、その科目に関する考え方が深まった。
	⑪	この授業を通して、知識や技能の向上を実感している。

○生徒の評価

4～1の段階で評価する。

4	そう思う。
3	どちらかというと思う。
2	どちらかというと思わない。
1	思わない。

○評価の段階

生徒の評価の平均を以下の評価とする。

3.45以上	A評価
2.90以上	B評価
2.35以上	C評価
2.35未満	D評価

教科（国語科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） 目標・評価基準を、単元や授業の始まりに明確に伝えることを継続していく。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） 発表の場面等で、生徒同士が相互評価する機会を設け、自己有用感を高めさせたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 低学力生徒の支援が難しい。どう対応していくかが課題。生徒が授業をするなど様々な視点から生徒の学びを刺激したい。

教科（地歴公民科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） 「授業の目標がわかりやすい」については前期から評価が上がったところである。授業ごとに目標や学習する内容について見通しをもって学習ができていると考えられる。 生徒が教科書から調べたり、事象について考えたりする活動の設定を心掛けた。その設定は生徒に対して伝わっている部分が増えたと考えられる。知識のみの注入ではない授業を心掛けたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） 各学年、授業の難易度について、低く表れている様子である。生徒に「何が身についたのか」を実感させるまとめや振り返りを各単元で1回以上行いたい。 わかりやすく発表する、まとめる部分で各学年の自己評価がBになっている。機会を何度も設定して、できる実感を与えたい。 1・2年生については「授業に積極的・主体的に参加している」の評価がわずかに低減した。課題の提示や思考の時間の設定によって、自分で考えている実感を持たせられるように努めたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 基礎基本の徹底を図り、生徒が「できる」といった実感を持たせたい。

教科（数学科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） 1年生は「分かりやすく発表したりまとめたりすることができる」の項目の評価が伸びた。前期と比較して互いに学びあう姿が多くみられた。知識をアウトプットする機会が増えたことで学習意欲の向上につながった。 2年生は「授業の目標がわかりやすい」の項目の評価が伸びた。教員の働きかけが改善され、生徒が明確な目標を持った状態で授業に参加することができるようになったことで主体的に学ぶ姿勢の向上につながった。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） 1年生は「授業の内容や難易度は自分に合っている」の項目の評価が以前低いままである。今年度は習熟度の展開方法を希望制にしたので、昨年度との比較や習熟度別クラスごとの比較を行っていききたい。 2年生は「分かりやすく発表したりまとめたりすることができる」の項目の評価が伸びたものの、いまだ低い状況である。成果は現れ始めているため、今後も知識をアウトプットする機会を設け続けたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 習熟度の展開方法の違いによる効果について経年比較を行い、次年度以降の展開方法を生徒の実情も踏まえつつ検討していく。

教科（理科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） 2学年は全般的に評価が向上した。3年生は多学年と比べ、安定して評価が高い。今後も引き続き実験や演習を取り入れながら、生徒の能力を向上できる授業を目指す。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） 1学年、2学年で「⑨授業に積極的・主体的に参加している。」に共通して評価Bが付いた。今後は生徒の興味関心を引きつける題材や発問を心掛けたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 今後、教科書やクロムブックを用いて調べ学習を行う時間を設け、自ら学びに向かうことができる授業を行っていく。

教科（保健体育科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） ・ほとんどの項目で前期よりも点数が高い。学習カードやノート、パワーポイント資料等「目標→展開→まとめ」の流れで取り組めるように工夫しているため、①、②については高い点数と言える。また、評価についても学習カードの中で毎時間示しているため、⑤についても高い点数につながっている。 ・1、2年生で学んだ基礎、応用を3年生では伝える活動を主としており、教員側が身につけてほしい力（わかりやすく伝えあう力や探究心等）を生徒自身も理解してくれているため、3年生についてはすべての項目が他の学年よりも高く出ていると考えられる。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） 1年生 ・⑨の発表項目が他に比べ低い、まだまだこれから慣れていく段階なので後期にはこの数値が上昇するように意識的に発表活動を盛り込んでいく。ただ、基礎を身につける段階のため、なかなか伸びにくいと感じている。 2年生 ・⑨の発表項目が他に比べ低い。自分たちの発表する様子や活動を動画で確認し、分析させるような活動を通して伸ばしていきたい。 3年生 ・⑧について、種目によっても変わってくる。最終的には4.0を目指し、全員が主体的に参加できるよう励みたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動

教科（英語科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
1・3学年は、全ての項目でA評価となった。④の項目に関しては、習熟度別授業を行っていることにより、他の項目よりも高い点数が反映されていると分析する。⑥や⑩、⑪の項目については、学んだことを生かして1つの事象を深く考えたり、プレゼンテーション等を通じて発表する能力を生かしたりするなど、ただ知識や技能を習得するだけでなく、それらを活用できるように授業内で工夫していることが、生徒からの評価につながっていると考えられる。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
2学年では、ほぼ全ての項目でB評価となった。1・3学年では前期よりも評価が向上しているのに対し、2学年では、評価が低下している項目が多い。前期と比較すると、①や②、⑤や⑧など、授業の難易度に左右されない項目での数値の低下が著しい。改めて、授業の基本となる項目の徹底を図っていくとともに、受け身の授業にならないよう、工夫しながら授業改善を進めていく。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
全体を通して、「英語を使える生徒」の育成に努める。英語での会話やプレゼンテーション等を通じ、英語運用能力の向上を図る。習熟度展開の強みを生かし、上位層の生徒は、受験や進学先でも対応できるよう、幅広い英語の力を身につけさせられるように努める。中位層や下位層の生徒へは、基礎学力の定着を図るとともに、身近な話題から英語への興味・関心を深められるよう、授業での工夫を行っていく。

教科（家庭科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
<ul style="list-style-type: none"> ・全学年とも、ほとんどの項目で後期の結果が伸びた。 →1学年では、振り返りの時間をしっかりと設けたため⑥の項目が伸びた。今後も、学習の定着を図る自己確認の時間を設けたい。 →2学年では、⑩の項目が伸びた。今後も家庭科で学ぶ生活実践力や見方・考え方を深めていきたい。 →3学年の選択科目では外部講師を招き、地域と連携した授業の実施や、体験的な学習や各種実習も多く行うことができた。次年度以降も協力を仰ぎ、地域に根差した学習を続けていきたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
<ul style="list-style-type: none"> ・2学年⑥項目が前期に比べて下がった。振り返りを行う時間を設定するよう授業を改善していきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
<ul style="list-style-type: none"> ・3学年の科目では外部講師に来ていただき地域と連携した授業を実施している。感染対策をしながら、今後とも、実施していきたい。

教科（商業・情報科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
<ul style="list-style-type: none"> ・全学年とも全体的に評価が高かった。 ・特に3学年についてはすべての項目が前期と比較して、向上した。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
<ul style="list-style-type: none"> ・2学年の「その科目に関する考えが」の項目が低かった。 →授業内での振り返り活動の仕方を今後改善し、生徒がその授業で何を学んだのかを毎時間意識できる授業づくりが必要であると感じた。また生徒の実態に合った課題を段階的に課し、自己肯定間の向上に努めていく。 ・2学年の「わかりやすく発表したりまとめたりすることができる」の項目が他の項目と比較して低かった。 →授業の中で、思考力・判断力は身につけてきているように感じているが、表現の仕方について、今後改善を図っていきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動